

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2011年12月1日

99号



奥地に建設中の牧童小屋

環境との調和を目指し

経済自立を果す牧場建設本格化

牛の面倒を見る新しいスタッフは左からホルヘ・ピント・フェリックス・ゴンザレス・フイデル、ヴェラの三人。フェリックスは責任者、ホルヘは三十一歳で、牧童歴は十数年、チエーンソーなども使え今回もパンタナール基地のコラル（牛の集積場）の改良に大変活躍してくれた。いろいろなアイデアを提供。更にチエーンソーで木から板を作ってくれ、コラルの門の扉を作ってくれた。隣の牧場管理責任者が太鼓判をおして推薦してくれた人。フイデルは三十二歳で、名前の通り『フイデルは英語のFAITHFUL（信頼に値する）』私たちが基地に行けば駆け寄ってきて門を開けてくれたり、荷物を持ってくれたりする非常に仕える精神に満ちた人。牧童経験としてはお父さんが大きな牧場の管理責任者（約二万頭を見ていたよう）であったため、生まれた時から牧場生活。様々な下積みの仕事や重労働をこなしてきたので基地の不便利な生活も全く苦にならないよう。フェリックスが連れてきたフェリックスの家の近くに住んでいる人で遠縁にあたるらしい。フェリックスはこの二人にとても満足しており、自分のアイデアを中心として牛の管理ができることをとても喜んでいる。この三人が一つになつて前向きにいろいろ工夫して牛の管理を進めてくれていることが非常に希望であると思います。

もう一つの拠点として現在開発しているフィルメ基地。その拠点となるところに小屋の建設をしている。背後に二千ヘクタール以上の自然牧草地を控える重大な拠点である。三人の職人が一ヶ月半、山に泊まり込んで建設をしてくれている。水だけはこちらが毎週ドラム缶（二〇〇リットル）で提供してあげているが、毎週アキダバンが着く金曜日には山からレイネルド（建設責任者）が下りてきて（十キロの道のり）食料の買い出しをしてくる。最終的に二週間後に完成してくれることになつている。（二〇一一年十一月十日 佐野記）

フィルメ（レダの港から10km奥地）の旧牧場を利用する年に二十年以上前に作られたであろうタハマールの清掃が不可欠。タハマールは古いため、水草が全面を覆つており、それを取つてきれいな水を確保する必要がある。そのためにトラックター技師と二人のインディオが水草に我々が考案して溶接して作った鋤をひっかけてトラックターで引く作業をしている。

水の中の作業のため、全身泥だらけになる大変な労働で、しかも蛇も水草とともにいるので危険が伴う。おそらく自然を知り尽くしたインディオ以外にはやる人はいないだろう。一週間で四分の一ぐらいが終了した。



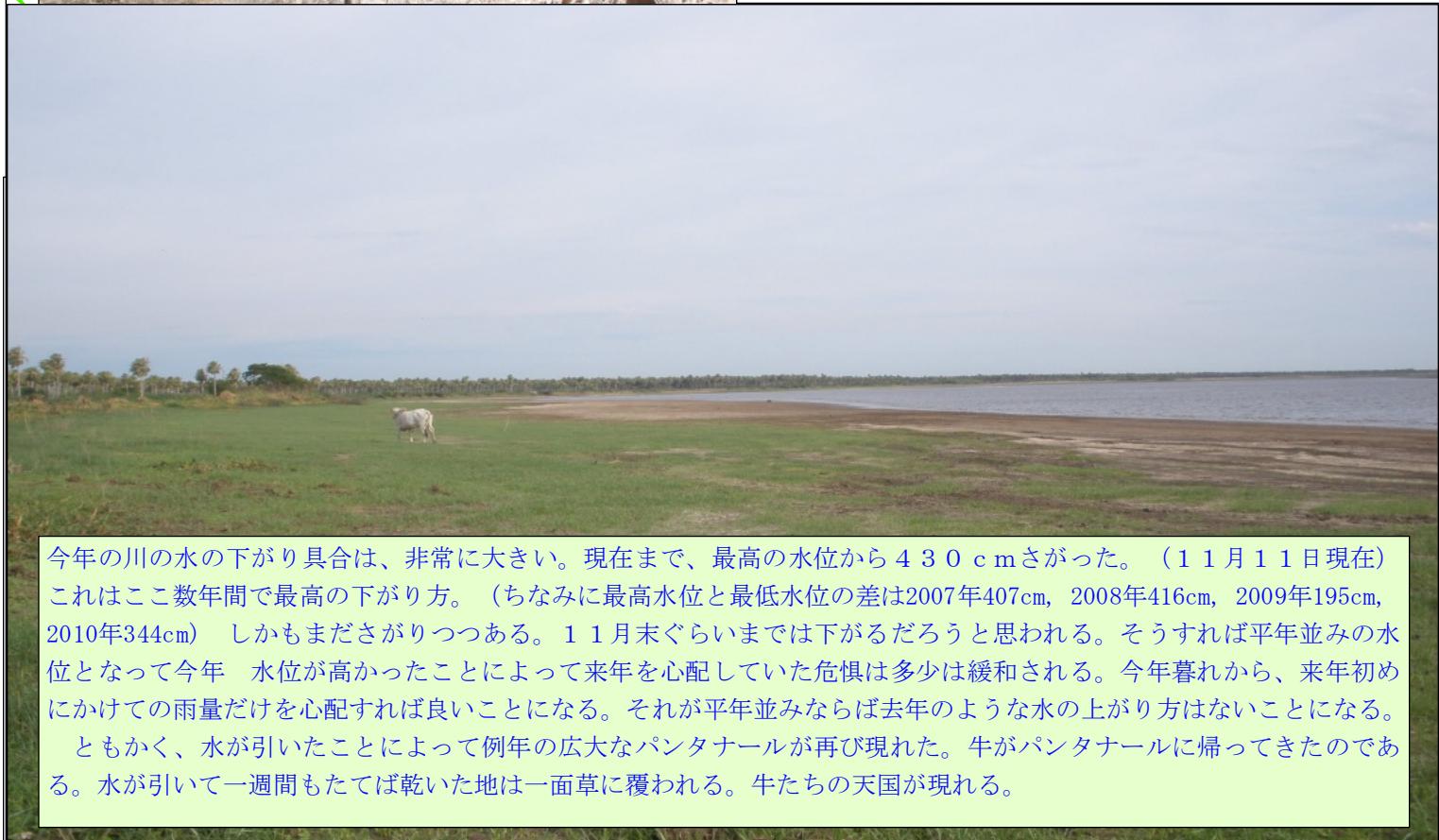
タハマール（ため池）を覆った草を清掃



牧場には、牛を毎回集めて数を数えたり、防虫剤の噴霧をしたり、注射を打つたりする設備が必要です。私たちには立派な設備をレダ基地に持っているのですが、そこまで牛を6キロほど歩かせなければならず、しかも集めた次の日に雨が降れば連れて帰るときに濡れた道路を七〇〇頭の牛が歩くことによって完全に壊してしまいます。がたがたの道になるのです。そのあとの整備が大変です。それ故にどうしてもパンタナール基地に牛を集めて作業する設備が欲しいというのが関係者の願いでした。

それを今回みんなが力を合わせ、インディオの労働者四人が協力して達成しました。牛を種類別に分別できる細分化された設備も作りました。

ドアーホルへがチーンソーで板を作つて作りました。



洪水後のレダの様子

水位の方も急速に下がり、レダの日常生活も落ち着きを見せて います。青木さんは魚の養殖の世話の合間に、労働者の宿舎の修理をして おります。

労働者は休日を利用し、お互いの髪を切り、整髪しており、大山さんはレダを十月二十一日に出発されて日本に一時帰国しましたので、担当されていいる豚の世話を労働者に委託するための準備を急がれました。

そのために、新しく購入したオート三輪の車の運転を若い労働者に中田先生がつきつきりで特訓され、一人で運転できるようになっています。



アスンシオンでは、大変な需要があり、中井先生からも種や乾燥葉を送つてほしいと強い要望があります

モリンガの種を密集して直播したところから葉が大きく成長していきます。この葉を乾かしハーブ茶として使用します。





2012

(平成24年)

PANTANAL



世界平和地球村の建設と自然環境の保護 Towards Building a Global Village of Peace and Protecting the Environment

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

TEL: 044-829-2821

南北米福地開発協会

<http://www.asd-nsa.jp/index.html>

2012年度カレンダー注文受付中！！

パンタナールの自然の豊かさを紹介し、生態系の保護の必要性が見て分かる素晴らしい出来栄えです。多くの方に紹介してください。注文は事務局にファックスかメールにて
(写真提供 飯野貞夫、カレンダーデザイン、和田賢一)

2012年カレンダー注文票

カレンダーデザイン

1-9枚 一枚 400円 10-19枚 350円

20-49枚 300枚 50-99枚 250円

100枚以上 一枚200円

お送りする場合は上記金額に郵送の簡代金等300円が加算されます。着払いとなりますのでよろしくお願ひします。

申込者名 部数 金額 円

受け取り方法を 事務局にて 郵送にて

郵送の場合 住所 - を入れて

電話番号

支払い

郵便口座 口座番号 00290-5-113072

南北米福地開発協会 代表 飯野貞夫

三菱東京UFJ銀行

宮崎台支店 口座番号 0135497

南北米福地開発協会 代表 飯野貞夫

飯野副会長夫妻、帰国報告会、各地で開催

東京、西国分寺

神奈川県、川崎市

埼玉県、東大宮

南北米福地開発協会
会員の募集中

地球家族として
自然を守りましょう

南米、パラグアイ、パンタナール地域
へのエコツアーナらびに植林活動
を通じて生態系の維持と強化を促進し、その
地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを
訴えています。

会費は月500円、
毎月、パンタナール通信を送ります。

また、各種のセミナー、エコツアーラ等の
案内をいたしました。

南北米福地開発協会 事務局

〒213-0011
神奈川県川崎市高津区
溝口三十一十五

岩崎ビル四F

○四四一八二九一一八二二

八二九一二八二〇

八二九一七七六八〇四七一

一〇一八〇一七七六八〇四七一

会費納入 郵便口座

一〇一八〇一七七六八〇四七一

E-MAIL office@asd-nsa.jp

ホームページ
http://www.asd-nsa.jp

代表 柴沼邦彦